お元気ですか？
みなみやまと
救急から在宅医療まで

第28号（2009年新人歓迎号）

医療法人　新都市医療研究会
「君津」会　南大和病院
〒242-0015
神奈川県大和市下和田1331-2
TEL　046-269-2411
発行責任者／藤井　真
編　集　者／みなみやまと広報委員会
発　行　日／平成21年5月15日

YAHOO!のキーワード
"南大和病院"で
アクセス可能!!
URL/http//www.minamiyamato-hosp.or.jp
是非アクセスして下さい

大和市がん検診実施中!!（今年から当院で胃がん検診も受けられます）

～がん検診は、仕事を休まずに受けられる当院へ。待たずに受けられる予約制も実施いたします。～

本年度より、大和市がん検診は受診可能期間が二ヶ月延長され、四月一日から実施可能となりました。また、検査項目に胃がんが追加されました。当院は、夜7時30分までに来院いただければ、がん検診を受けることができます。

【対象者】
当院でがん検診を受けることのできる方と検査内容及び費用は（表1）の通りです。

【実施期間】
平成21年4月～11月

【受診の方法】
大和市から送付された「平成21年がん検診受診カード」（写真1）と保険証と診察券を持参してご来院ください。
★胃がん検診は問診の後、検査方法を決定し検査予約をして頂きます。
★胃がん検診の問診、肺がん検診、大腸がん検診を受診の方は予約が無くとも受診可能です。直接、当院外来診療時間に来院して下さい。
★乳がん検診、受診の方は予約が必要です。電話にて予約後、来院して下さい。
※X線検査（マンモグラフィ）実施可能な医療機関が大和市に4ヶ所しかなく、混雑が予想されますので、お早めの予約をお勧めします。

【当院外来診療時間】
午前外来　9時～12時
午後外来　2時～4時
夜間外来　5時30分～7時30分（土曜日は除く）

【お問い合わせ先】
がん検診に関するお問い合わせ・ご予約は電話番号
046（269）2411
南大和病院　がん検診予約係まで。

表1、当院で受けることのできる大和市がん検診

がん検診名	内　容	対象者（大和市在住）	自己負担金
（1）胃がん検診	問診、X線検査（バリウム）検査または内視鏡検査	40歳以上の方	2,500円
（2）肺がん検診	問診、胸部レントゲン検査	40歳以上の方	1,000円
	喀痰培養検査	問診で必要と判断された方	1,000円
（3）大腸がん検診	問診、検便（2日法）	40歳以上の方	700円
（4）乳がん検診	問診、視触診	30歳以上の女性	700円
	マンモグラフィ併用	40歳以上で平成21年4月2日～平成22年4月1日の間に偶数歳になる女性	2,000円

（写真1）平成21年がん検診受診カード

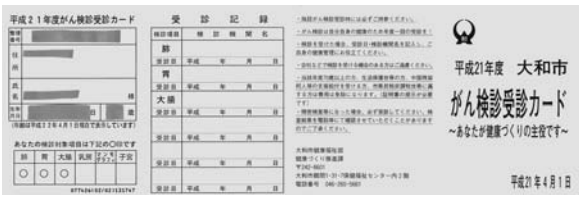
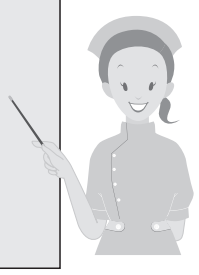


表2、がん検診を受診する場合の注意事項

【注意点】
1. 当日、下記の必要書類を忘れると受診できませんのでご注意ください。
2. 当日は問診があります。待ち時間が長くなることが予想されますので、予約をお勧めします。
3. がん検診終了後に会計があります。
4. がん検診の結果は郵送できません。
結果説明のため受診が必要です。1ヶ月後を目安に予約をお取り下さい。
5. 例年、11月になると混み合います（特に乳がん検診）。なるべくお早目の受診をお勧めいたします。

【当日持参するもの】
●保険証
●診察券(当院の受診歴のある方)
●平成21年がん検診受診カード（写真1）
●費用負担の免除に該当する方はその証明書
○生活保護費受給票
○中国残留邦人等支援証明書
○平成20年度非課税証明書（市民税非課税世帯に属する方）

【注意事項】
がん検診を受診する方への注意事項は表2の通りです。よくご確認の上来院いただきますようお願い申し上げます。



シリーズ　知って得する病気の知識

糖尿病について（前編）

内科　本田宗弘

第15回の「知って得する病気の知識」は、糖尿病について2回に分けて掲載します。執筆は、当院で内分泌代謝の専門外来を担当している本田宗宏先生です。

はじめに

近年の我が国における糖尿病患者の増加はめざましく、厚生労働省の国民健康・栄養調査によると「糖尿病が強く疑われる人」が約890万人、「可能性を否定できない人」が1320万人と推計されており、患者と予備群の合計が2210万人に達しました。（図1参照）
しかし、20歳以上の患者さんのうち現在治療を受けている人は55.7％にとどまっており、39.2％の人は治療を受けたことがないと答えています。この理由のひとつは糖尿病の初期には自覚症状がほとんど現れないことがあげられます。では、自覚症状がないから放っておいてよい病気なのでしょうか？今回は糖尿病についてお話させて頂きます。

糖尿病とは？

食べものや飲みものを消化して作られるブドウ糖は体を動かすエネルギー源となります。ブドウ糖は血液の流れに乗って体の細胞に運ばれ、筋肉や臓器で使われます。体の中で血糖を下げる唯一のホルモンであるインスリンが不足したり、働きが悪くなるとブドウ糖がエネルギーを必要としている細胞の中に運ばれなくなり、血液や尿の中にあふれてしまいます。これが糖尿病です。糖尿病の初期にはほとんど自覚症状がありません。しかし、糖尿病を放っておくとさまざまな合併症が忍び寄ってきます。

どうして糖尿病になるの？

糖尿病の多くは遺伝的な体質（インスリンの分泌が少ないなど）に過食、食事の偏り（特に脂肪の多い食事）、肥満、運動不足やストレスなどの生活習慣が加わって発症するといわれています。

自分は糖尿病かも？

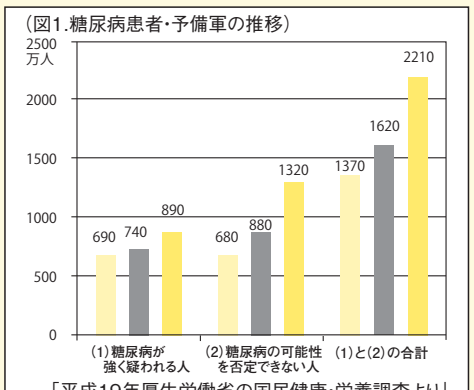
血糖値がかなり高くなれば、のどの渇き、疲れやすさ、トイレが近いなどの症状がみられますが初期の段階では自覚症状はありません。そのため、糖尿病は「検査の病気」といわれることもあります。診断には血糖値を測定することがなにより大切です。特に家族に糖尿病の方がいたり、若い時に比べ体重増加が目立つようならば早めに検査を受けることをおすすめします。どのような病気でもそうですが特に糖尿病の患者さんの多くは「糖尿病である」ことを認めたくないという気持ちがあります。まして、自覚症状がないことが多いだけに「自分だけは大丈夫」と思う傾向が強いようです。そのため、治療開始が遅れる場合がしばしばみられます。自覚症状が出てから病院を受診され、すでに合併症を併発していることも少なくありません。「自分は糖尿病の訳がない」と認めないで過ごすより、少しでも当てはまることがあるようならば「糖尿病かも？」と思い、検査を受けることが自分や家族の将来にプラスになることでしょう。最近は多くの人が健康診断を受けており、比較的早期に糖尿病を発見することが可能となってきています。そこで血糖値が少しでも高ければ「糖尿病かもしれない」と自覚し、速やかに精密検査を受けましょう。

治療しないとどうなるの？

自覚症状がないからといって放置すると眼底出血による視力障害や腎臓の機能障害、神経障害による足のしびれや壊疽、さらに脳梗塞や心筋梗塞といった命にかかわる合併症をも引き起こします。実際、糖尿病による腎臓障害で人工透析を始める人は、年間1万人以上いますし、糖尿病が原因の視覚障害の発生は年間約3000人います。さらに糖尿病が原因で亡くなる方は年間で約1万9000人といわれています。このため、自覚症状のない時から治療を行う必要があるのです。

前編では糖尿病の紹介を中心にお話させていただきました。次号の後編では、糖尿病の診断と治療、そして予防について話しますので、ご期待下さい。

（図1.糖尿病患者・予備軍の推移）



「平成19年厚生労働省の国民健康・栄養調査より」

新たに3名の常勤医を迎え、より充実した医療体制となりました!!

2階病棟内科医
片平裕次医師

この春から南大和病院で働かせて頂くこととなりました片平裕次です。生まれも育ちも鹿児島です。千葉大学医学部を卒業し、千葉大第一内科（現腫瘍内科）に入局後、医局の出張先の病院を回って、栃木や茨木、千葉のいわゆる田舎（大体県のはずれ）周りをしていました。千葉市の100㎞圏内になかなか入れず、このままでは子供の教育環境に良くないのではと考えて、一念発起して横浜に転居しました。

趣味は（ドライブではなく）ドライビングです。車は派手派手なオレンジのフェアレディZロードスターで、行く先々でひと目を引いてしまいますが、運転は派手ではありません。ただ少し平均速度が高目なだけです。その昔はバイクに乗って箱根の峠道に走りに行ったりしていました。春先、藤沢街道の沿道の桜が満開で桜吹雪の中を愛車で通勤できるのが今の毎日の喜びです。

医療の専門領域としては消化器です。その中でも大学病院に在籍していた折には肝癌治療を主体としていましたが、市中病院に移ってからはそんなに肝癌の患者さんを抱えていられるわけもなく、自分の意図するところというわけではないのですが、最近は内視鏡関連にその比重が移ってきている感じです。

この春より病院勤務をしていて、院内に私と同じ九州出身者が多いのに驚きました。お国訛りを聞いたりするとなんとなく親近感が湧くものです。近県の方は気楽に声をかけて下さい、勿論その他の地域の方もですが。

不慣れな点も数々あります。どうぞよろしくお願い致します。

3階病棟外科医
竹中芳治医師

竹中芳治です。鳥取県米子市生まれ、大阪育ちの阪神タイガースファンです。平成4年に三重大学医学部を卒業後、現在の東京大学胃食道外科学の医局に入局しました。その後は、同大学病院、友愛記念病院（茨城県）、東京都立駒込病院、帝京大学溝口病院、公立昭和病院などに、特に胃、大腸、乳腺の癌を中心とする外科の修行の旅に出ておりました。途中、来る日も来る日も夜間の緊急手術でイレウス、大腸穿孔、胆のう炎の連打連打連打に遭ってみたり、胃癌・腸上皮化生の発生や胃に存在する内分泌細胞についての研究と称して、ネズミやヘリコバクターピロリ菌と戯れてみたりと、まさに人生、谷あり川底あり地底ありでした。そんな平成20年4月のある夜、私の携帯電話が鳴りました。幾分変わり者ですが、親友のサイトータクジ君からでした。「今、南大和病院に勤務してるんですよー！う～ん、いい病院ですよー！一緒に働きましょうよー！」と。

3週間後には、院長藤井先生にお会いすることになり、トントンと話が進みました。当時の勤務先は、外科医として非常に働き甲斐のある、燃えるけど泣ける辛くも楽しい愛すべき病院で、退職することに若干抵抗はありました。が、大学医局という黒い政治的な背景（ん？）もあり、そろそろ異動かな？という時期、心情でもありました。自分の職場を褒めることなど決してなかったサイトー君が、南大和病院については、絶賛していました。彼の属する外科の先生方も素敵な方々なのでしょう。また、この異端児サイトー君の類まれなる良き理解者でもあり、明るく熱く南大和病院の現在・将来を語る、藤井院長先生の人柄や寛大さに惹かれました。さらに、藤井先生の絶賛「うちには手術の達人がいるよー、すごいよー、是非見においでよー」のダメ押し。

というわけで、平成21年4月より南大和病院外科に勤務することになりました。皆さん、よろしくお願いします。

3階病棟内科医
丸岡隆二医師

4月から南大和病院に勤務することになりました丸岡隆二です。平成13年に東京大学医学部を卒業し、消化器内科、主に内視鏡検査、治療を中心に診療してきました。

消化器内科といってもピンと来ない方も多いと思います。一言でいうとお腹の内科ですが、お腹の中には胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵（すい）臓などたくさんの臓器があり、その疾患、検査、治療は多岐にわたります。全てを専門にするのは大変なので、大学病院や学会などでは、消化管（胃、小腸、大腸）、肝臓、胆膵（胆嚢、胆管、膵臓）の3つのグループに分けることが多いようです。大学では胆膵系のグループに属していましたが、胆膵に関わらず、胃、大腸の内視鏡（胃カメラ、大腸カメラなど）もこれまで積極的に行ってきました。

腹腔鏡（皮膚を切開してお腹に入れるカメラ）を内視鏡に含めることもありますが、内科ですので、お腹を切開する手術はやりません（お腹に針を刺したりチューブを入れることは時々ありますが…）。薬を調整したり、口や肛門からカメラを入れて検査、治療を行います。お腹を切らずにどこまで検査、治療ができるかが頑張りどころです。

具体的には、総胆管結石、胆嚢線筋腫症などの良性疾患、膵胆道系の悪性腫瘍（膵臓癌、胆管癌、胆嚢癌など）、慢性膵炎（膵石、仮性のう胞）などの内視鏡診断と治療（ERCPと呼ばれる手技）、消化管では胃、大腸の早期癌や良悪境界病変の拡大内視鏡による診断や内視鏡治療（ESD：粘膜下切除術）などになります。

新しい環境で不慣れな点も多いですが、よりよい診療ができるよう頑張って行きますのでよろしくお願いいたします。

coffee コーヒーブレイク

『きりひと讃歌』

（きりひとさんか、EULOGY TO KIRIHITO）

手塚治虫による医療漫画。『ビッグコミック』（小学館）にて1970年4月10日号から1971年12月25日号まで連載された。1972年に虫プロ商事からCOMコミックス増刊として全2巻が刊行され、その後も各社から何度も再版されている。

【概要】

外見による差別や人間の尊厳などをテーマとする重厚なストーリー漫画である。同じ医療漫画である3年後の『ブラック・ジャック』がよりファンタジー色が強いのに対し、医学界における権力闘争を描いた社会派的色合いの強い作品となっている。舞台のモデルは、手塚の母校であり山崎豊子著『白い巨塔』でもモデルとなった大阪大学医学部である。『白い巨塔』の影響を多分に受けているという指摘に対して手塚は、モデルが同じである事に加えて、医学界という舞台は〈権威とかキャリアという要素をぬきにしてはドラマがつくれない〉ほど封建的であることを述べている。

連載当初は「人間が獣に変化する」というコンセプトは『バンパイヤ』の二番煎じではないかとの批評もあり、編集部からも小山内を人間に戻すよう要望があったが、手塚はそれでは作品の真価をスポイルされると考えた。この考えは高く評価されている。

【あらすじ】

モンモウ病とは、四国の山あいにある犬神沢の村に起こる奇病である。突然恐ろしい頭痛とともに生肉を食べたくなる。やがて体中が麻痺して骨の形が変わり、犬のような風貌になる。そして1ヶ月以内に呼吸麻痺で死に至る……という難病である。世界の医学者たちは、人の姿を失うこの病気を、恥じ、恐れた。大阪のM大学医学部でモンモウ病患者を担当していた青年医師小山内桐人と同僚の占部は、この病気が川の水や土質に由来する中毒だとする仮説を立てる。ビールス（ウイルス）による伝染病説をとなえる竜ヶ浦教授の指示で小山内は現地へ調査に赴き、モンモウ病に罹患し犬のような姿になりながらも、ついに自らの仮説の証拠をつかむ。

しかし彼を待っていたのは、陰謀と数奇な運命であった。「きりひと」は、あたかも人類全体の苦悩を受けて立ったイエス・キリストのごとく、蔑視され嘲笑されながら世界を放浪していく事になる。

（執筆　編集委員　大村）

南大和でこの春デビュー

平成21年度新人職員紹介

顔写真

※質問①出身地
※質問②あなたのマイブームは、何ですか?
※質問③あなたのおすすめデートスポットはどこですか?

吉田　結子
（よしだ　ゆうこ）
2階病棟准看護師
①神奈川県
②アウトレットめぐり
③ラゾーナ川崎

若林　琴美
（わかばやし　ことみ）
回復期リハ病棟介護福祉士
①神奈川県
②コアリズム
③家

山村　まり子
（やまむら　まりこ）
2階病棟准看護師
①神奈川県
②デコメール
③横浜

山口　愛
（やまぐち　あい）
回復期リハ病棟介護職
①沖縄県
②スポーツ全般（バスケット）
③鎌倉辺り

増田　有香
（ますだ　ゆか）
2階病棟准看護師
①宮崎県
②TV見ること
③宮崎の海（青島）

山川　紀幹
（やまかわ　のりもと）
調理師
①神奈川県
②仮面ライダーのフィギュア
③小田原城

東　智子
（ひがし　ともこ）
透析センター看護助手
①神奈川県
②ネイルアート
③高座渋谷のジャスコ

伊達　和宏
（だて　かずひろ）
臨床工学技士
①横浜市
②仕事
③原宿

長友　真里奈
（ながとも　まりな）
3階病棟看護師
①宮崎県
②アロマ、温泉めぐり
③海へドライブ（日南海岸）

三橋　拓
（みつはし　たく）
回復期リハ病棟作業療法士
①千葉県
②引越し
③国道134号

西長　文子
（にしなが　ふみこ）
ヘルパーS介護福祉士
①神奈川県
②スポーツクラブ通い
③町田小田急屋上で青空を眺めての談話

祝迫　真理子
（いわいさこ　まりこ）
3階病棟看護師
①鹿児島県
②これから見つけたいです
③鹿児島の開聞岳、池田湖

下園　一美
（しもぞの　かずみ）
3階病棟看護師
①鹿児島県
②ボーッとする
③クリスマスシーズンの城山観光ホテルの夜景（鹿児島）

鈴木　理美
（すずき　さとみ）
3階病棟看護師
①宮崎県
②音楽鑑賞
③宮崎の海（戸井岬）

北川　史織
（きたがわ　しおり）
2階病棟准看護師
①宮崎県
②テレビ
③天神

岩田　幸美
（いわた　ゆきみ）
臨床工学技士
①横浜市
②カラオケ
③ちぃバス（コミュニティバス）六本木～赤坂

大石　美加子
（おおいし　みかこ）
老健介護福祉士
①大和市
②牛乳
③みなとみらい

★誌面の都合上、平成21年4月以降に入職した方のみ紹介させていただきました。

永年勤続者表彰される

4月18日、グランドホテル湘南にて勤続十年及び二十年を越えた職員の永年勤続表彰式が新人歓迎会とともに行われました。これまで築き上げてきた功労を称えるとともに、今後益々の活躍により、南大和の発展に貢献していただきたいとの激励を込めた表彰でありました。

今年は、勤続十年、二十年とも3名の表彰が行われるとあって、いつもにも増して会場は華やいでいました。可憐な衣装に身をつつんだ女性陣とビシッとスーツで決めた紳士達が集合し、まるでアカデミー賞の受賞会場の様でした。

病院から豪華なお盆と旅行券を贈呈された二十年表彰の永山リハビリ部長は「自分が一生懸命やったことに、「ありがとう」と言ってもらえる仕事につきたくて、この仕事に転職しました。20年たった今、この選択が間違っていなかったことを確信しています。これからも、少しでも多く「ありがとう」と言ってもらえるように努力していきたいと思います。」と熱き思いを語っていました。

そして、十年表彰で、江戸切子のペアグラスと旅行券を贈呈された介護福祉士の長井裕子さんは「十年の間、何度もやめてしまいたいと思ったことが有りましたが、その度、先輩や同僚から励まされてなんとかここまで勤めてくることができました。今後も素晴らしい職場の仲間達と頑張って働いていきたいと思います」と力強く話しておりました。

（文責　編集委員　鈴木）

（前列）右から
☆勝山まき子（クリニック准看護師）
☆永山定男（リハビリ部長）
　廣瀬直人（内科部長）
☆羽石真理（病院薬剤師）
（後列）右から
★中根菊美（病院看護師）
★武田和博（病院理学療法士）
★長井裕子（老健介護福祉士）

☆勤続二十年表彰者
★勤続十年表彰者
（敬称略）

素敵な江戸切子のプレゼントにご満悦な中根菊美さん

昇格人事発表

平成21年4月1日より昇格者

昇格人事の辞令は、藤井院長から直々に交付されました。

前列（右から）
★小林透（事務）経理課長→経理部長
★高梨君夫（事務）事務長→医事部長
藤井院長
★須藤治（事務）総務次長→総務部長
★多田涼子（医療相談室）副主任

2列目（右から）
★中島忍（リハビリ部）副主任
★廣山千晴（事務）副主任
★鈴木比子（リハビリ部）副主任
★柏田知美（リハビリ部）副主任
★吉田秀美（検査科）主任
★加藤佳代子（透析部）副主任
★永井幸子（事務）副主任

3列目（右から）
★清家幸治（事務）総務課長→事務長
★吉川康彦（薬剤部）副主任
★板垣典子（事務）副主任

丸円内
★小泉綾子（薬剤部）　副主任→主任

リレーエッセイ

執筆者に次のエッセイストを紹介頂き、どんどん職員間にエッセイの輪を広げていきます。25番目は管理栄養士の中野幸子さんです。

管理栄養士の中野です。私は去年の秋オーストラリアのケアンズに行ったときのことを書きたいと思います。着いて早々にコアラをだっこして写真を撮ったり、カンガルーと触れ合ったりオーストラリアならではの体験をいっぱいしました。

どれもとても楽しく、いい思い出になりました。なかでも私が一番印象的で、嬉しかった体験は言葉が通じなくても楽しいという気持ちを共有することができたということでした。お互いに言っていることはなんとなくしかわからなかったのですが、一緒にバーベキューをしたり、オーストラリアの伝統的な踊りを踊ったりしているうちに、すごく盛り上がり、現地の人たちとても仲良くなることができました。

日本人の観光客は恥ずかしがって、踊らないことが多いそうです。かなり激しい動きが多いですが、周りもみんな踊っているので、思い切って踊ってしまったほうが絶対楽しいと思います。踊りを通じて、同じツアーの人とも現地の人とも踊る前よりも格段に仲良くなれることは間違いないです。日常生活の中でも、なんでも思い切ってやってみるという事が、成功につながると感じました。みなさんももし、そんな機会があったらぜひ挑戦してみてください。

「このコアラはぬいぐるみでは無いですよ」

「国や言葉は違っても楽しむ気持ち同じ」

次回のリレーエッセイの執筆者は、薬剤師の吉川康彦さんです。どうぞお楽しみに

「笑顔で挨拶」コンテスト結果発表

看護部接遇委員会では、スタッフ全員が接遇の大切さを理解して、実践できるように、様々な取り組みを行っています。その一つとして、「笑顔で挨拶」が素晴らしい職員と部署を選ぶコンテストを開催しました。その結果、「なるほどー」と多くの職員が納得できる結果となりましたのでご報告します。

【個人の部】

三位

二ツ柳和儀（運転手）

二位

曽根晴江（外来看護副主任）

一位

渡辺洋子（通所リハビリ介護科長）

【部署の部】
一位、通所リハビリ
二位、病院外来
三位、老人保健施設さくらぷらざ

個人の部一位の渡辺科長が、部署一位に輝いた通所リハビリで音楽療法を実施中。
リハビリの第一歩は元気な笑顔を引き出すこと

このコンテストをきっかけに、職員全員が選出された職員のように、すてきな笑顔で患者さん、利用者さんに接することができるよう努力していきます。また、今回は職員による投票でのコンテストでしたが、患者さんからの選出によるコンテストが必要との声も多く、委員会では今後の開催を検討中です。

（文責　看護部接遇委員会　安成）

インフォメーション

健康運動指導士ってなぁに？

健康運動指導士は厚生労働大臣認定の資格で、昭和63年より認められた制度です。

平成20年4月より始まった、特定健診・特定保健指導により「運動に関する専門的知識及び技術を有するものと認められる者」となり、健康に必要な運動プログラム（運動処方）を作成できる資格です。

特定保健指導の生活習慣病対策標語は「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ」となっており、運動は生活習慣病の発症リスクが低くなるエビデンス（明らかな根拠に基づく医療）があります。生活習慣病指導の運動指針では、健康な成人を対象としていますが体力には個人差があり、身体特性及び状況に応じた運動内容の選択など指導が必要となります。

安全かつ有効な運動を普及させるために、継続的な運動処方の作成や相談等のお手伝いをさせていただきます。また、介護支援専門員やヘルパー等の資格に併せて、健康運動・福祉介護を総合的に支援できればと思っております。

健康運動指導士による運動プログラムの作成は、特定保健指導対象者で希望の方のみとさせていただきます。管理栄養士による栄養相談とともにサポートいたします。ご希望の方は、予約専用電話よりご予約ください。

【実施日】
月～土曜日　午前（10時～11時30分）
午後（14時～16時）
但し、土曜日は午前のみ
【予約専用電話】
046-269-0841
【予約受付時間】
月～金曜日　9時～17時
土曜日　9時～13時
（執筆及び担当者）
（健康運動指導士・介護支援専門員　深澤　幸助）

編集後記

★南大和に来て20年過ぎました。「みなみやまと」に関わって10年過ぎました。ラストスパートです。（永山）

★健診の数値が気になる年頃か・・・（吉田）

★医事部も新しいメンバーが増えて活気が出てきました。（田村）

★今号は何にもお手伝いができませんでした。心を入れ替えて次号から頑張ります。（増渕）

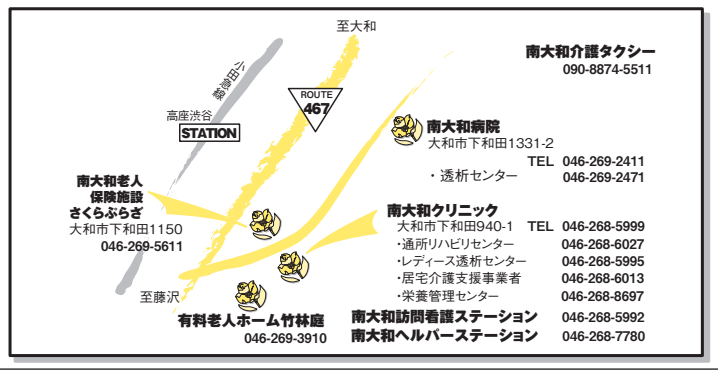
★ブラックジャックとは異なる視点で描かれた医療漫画。読み比べてみるのも面白いと思います。（大村）

★楽器を習いたいなぁと思う今日この頃♪♪（鈴木）

外来診療予定

＊夜間19時30分まで外来受付しております。ただし専門外来は予約が必要です。

			月	火	水	木	金	土
AM 9:00～AM 12:00	午前外来	一般 総合	竹中（外科） 星（内科） 廣瀬（内科）	吉川（外科） 田中（内科） 丸岡（内科）	正木（外科） 廣瀬（内科） 池田（外科） 清水（内科）	吉田（内科） 加賀谷（外科） 城（内科）	（乳腺）朝隈 河野（内科） 柏谷（内科） 斉藤健（外科）	池田（外科） 天野・小川（外科） 清水（内科） 根津（外科） 片平（内科）
		予約 専門	（外科）朝隈 （整形）菅	（総合）池田理事長 （呼吸器）若林	（リウマチ）溝口 （整形）原 （消化器）藤井院長	（総合）廣瀬 （DM）高地 （泌尿器） 白石・土屋	（総合）池田理事長 （整形）苅田 （消化器）藤井院長	（糖尿病 本田（隔週）） （内分泌） （腎内）吉村 （整形）山本 （リウマチ）橋本嘉
PM 2:00～PM 4:00	午後外来	一般 総合	星（内科） 丸岡（内科） 朝隈（外科）	吉川（外科） 根津（外科） 田中（内科）	道下（内科） 片平（内科） 竹中（外科）	吉田（内科） 加賀谷（外科） 中川（内科）	池田重（乳腺・外科） 河野（内科） 柏谷（内科） 斉藤健（外科） 丹羽（外科）	根津（外科） 清水（内科） 竹中（外科）
		予約 専門	（消化器）藤井院長 （整形）菅	（循環器）鈴木	（総合）大津 （血管）新本 （リウマチ）溝口 （整形）原 （腎内）鈴木	（循内）橋本通 （腎内）高地 （泌尿器） 白石・土屋	（整形）苅田 （循内）辻 （DM）鈴木真	（総合）大津 （循内）青木（循）折茂 （糖尿病）本田（隔週） （リウマチ）橋本嘉 （整形）山本 （胸外）神谷 （形成）門田 （血管外科）新本Dr
PM 5:30～PM 7:30	夜間外来	一般 総合	星（内科） 丸岡（内科） 藤井院長（外科）	吉川（外科） 根津（外科）	正木（外科） 道下（内科）	吉田（内科） 城（内科） 加賀谷（外科）	丹羽（外科） 藤井院長（外科）	
		予約 専門	（整形）菅	（脳外科）茂野	（整形）原	（泌尿器） 白石・土屋 （脳外科）熊井	（整形）苅田	

上記の予定は都合により変更になることがあります。ご了承下さい。

医療法人
新都市医療研究会「君津」会　みなみやまと